

問題 A

問 1 普通の呼びかけで容易に開眼する場合、ジャパン・コーマ・スケール(JCS)による評価はどれか。

1. I - 3
2. II - 10
3. II - 30
4. III - 100

問 2 頻回の嘔吐で起こりやすいのはどれか。

1. 脱水
2. 貧血
3. 発熱
4. 血尿

問 3 呼吸中枢の存在する部位はどれか。

1. 大脳
2. 小脳
3. 延髄
4. 脊髄

問 4 脳神経とその機能の組合せで正しいのはどれか。

1. 顔面神経 —— 顔の感覚
2. 舌下神経 —— 舌の運動
3. 動眼神経 —— 眼球の外転
4. 三叉神経 —— 額のしわ寄せ

問 5 欠乏すると味覚障害が出現するミネラルは以下のどれか？

1. 鉄
2. 亜鉛
3. 銅
4. アルミニウム
5. カルシウム

問題 A

- 問 6 栄養摂取方法について正しいものを選びなさい。
1. 栄養摂取方法は言語聴覚士が評価して決定する
 2. 栄養摂取方法は本人(または家族)の同意のものに決定する
 3. 胃瘻にすると一生、食べられない
 4. 胃瘻にすると口腔ケアしなくても良い
- 問 7 前頭葉が広範囲に障害された患者の口唇を介護者の指やスプーンで触ると、それらに吸い付くような動作が見られるが、これをなんというか？
1. 吸引反射(吸てつ反射)
 2. 下顎反射
 3. 軟口蓋反射
 4. 咽頭反射
 5. バビンスキー反射
- 問 8 多くの科学研究によると、記憶力の改善が見られたという健康食品は下記の中のどれか？
1. ヒアルロン酸
 2. ビフィダス菌
 3. ドコサヘキサエン酸
 4. オルニチン
 5. ウコン
- 問 9 現在我が国の医療保険薬でアルツハイマー型認知症に適応がある薬剤は以下のどれか？
1. アムロジピン(商品名 アムロジン、ノルバスク)
 2. メマンチン(商品名メモリー)
 3. フロセマイド(商品名ラシックス)
 4. クエチアピン(商品名セロクエル)
 5. シロスタゾール(商品名プレタール)
- 問 10 老化に伴う口腔・嚥下障害の変化として、正しいものを一つ選んでください。
1. 唾液分泌量が増加する。
 2. 未蓄の数は変わらない。
 3. 嚥下反射が亢進する。
 4. 咀嚼力は変わらない。
 5. 舌の動きが低下する。

問題 A

問 11 「智の脳」といわれ、近時記憶に深く関与している脳の部位はどこか？

1. 黒質
2. 扁桃核
3. 前庭核
4. 海馬
5. 被殻

問 12 味覚に関与しない脳神経はどれか組み合わせを選びなさい。

- a 三叉神経
- b 顔面神経
- c 舌咽神経
- d 舌下神経

1. a b
2. a d
3. b c
4. c d

問 13 老化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 生理的老化の特徴の1つに可逆性がある。
2. 老化は環境因子に影響されるが、遺伝因子には影響されない。
3. 老化が進むとともに、生理機能低下の個人差は減少する。
4. 肺や腎臓は、老化による生理機能低下が顕著な器官である。

問 14 Aさん(55歳 男性)は、3年前に筋委縮性側索硬化症(ALS)と診断されている。6か月前に嚥下が困難になり、発熱、脱水のため入院して誤嚥性肺炎と診断された。その後、胃瘻造設術を受けている。現在は退院して自宅にいるが、球麻痺(嚥下困難、構音障害など)があり、また、四肢の筋委縮と筋力低下が顕著で寝たきりの状態である。右上肢は肘と手首を少し動かすことはできるが、指を動かすことはできず、左上肢と両下肢はほとんど動かすことができない。眼球は動かすことができる。

次の記述のうち、Aさんの症状に関連する事項として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 経口摂取をしていないので、誤嚥性肺炎を再発することはない。
- 2 球麻痺があるため、コミュニケーションの確立はできない。
- 3 呼吸筋障害による呼吸不全をきたすことがある。
- 4 感覚障害と排尿障害を伴うことが多い。
- 5 介護保健の給付を受けられない。

問題 A

問 15 認知症に関する次の記述のうち、正しい組み合わせを選びなさい。

1. アルツハイマー型認知症に用いられる薬物は、現在、存在しない。
2. レビー小体型認知症では、パーキンソン症状を生じることはまれである。
3. 脳血管性認知症は、生活習慣病(糖尿病、脂質異常症、高血圧など)が原因と口なっていることが多い
4. 正常圧水頭症による認知症は、外科手術で回復することがある。
5. 認知症に伴うせん妄は、夜間よりも昼間の方が多い。

a. 2.5 b. 1.3 c.2.3 d.1.5 e.3.4

問 16 空いている空欄に該当する記号を選択してください。

栄養投与の方法はいろいろあるが、末梢静脈栄養のみの栄養は、開始後()までが限度だと言われている。

a. 1週間 b. 2週間 c. 3週間 d. 4週間 e. 6週間

問 17 空いている空欄に該当する記号を選択してください。

栄養評価に用いるアセスメント表の代表的なものにSGAやMNAがあるが、MNAは対象年齢が決まっており()以上の方に用いる評価表である。

a. 20歳 b. 65歳 c. 45歳 d. 55歳 e. 75歳

問 18 空いている空欄に該当する記号を選択してください。

栄養評価を行う上で体重は重要な栄養指標をあらわす評価項目である。高度な栄養障害が予想されるのは、例えば1か月で()以上の体重減少がみられた場合には、即何らかの栄養介入が必要であると判断する。

a. 2% b. 3% c. 5% d. 10% e. 15%

問 19 空いている空欄に該当する記号を選択してください。

日本摂食嚥下学会より2013に発表された食形態の学会分類では、コードOは()の2種類に分類されている。

a. 0a、0b b. 0c、0d c. 0j、0t d. 0j、0k e. 0c、0d

※選択肢<e>は削除

問題 A

問 20 空いている空欄に該当する記号を選択してください。
日本摂食嚥下学会より2013に発表されたとろみ濃度の学会分類は、() に分類されている。

- a. 2段階 b. 3段階 c. 5段階 d. 4段階 e. 10段階